



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成28年2月4日 東

上場会社名 株式会社テレビ東京ホールディングス 上場取引所
 コード番号 9413 URL http://www.txhd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 雄一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局長 (氏名) 岩田 英治 (TEL) 03-5473-3001
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	100,530	4.7	6,576	31.8	6,844	30.1	4,293	39.7
27年3月期第3四半期	96,058	7.0	4,990	△1.0	5,261	△1.3	3,073	11.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 4,780百万円(△0.3%) 27年3月期第3四半期 4,792百万円(25.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	151.82	—
27年3月期第3四半期	108.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	103,415	74,919	70.4
27年3月期	100,565	71,260	68.9

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 72,852百万円 27年3月期 69,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.50	—	22.50	35.00
28年3月期	—	15.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,100	5.0	7,000	40.0	7,300	34.4	4,500	45.6	159.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	28,779,500株	27年3月期	28,779,500株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	500,813株	27年3月期	500,513株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	28,278,775株	27年3月期3Q	28,279,462株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月～12月)の日本経済は、中国を始めとするアジア新興国等の景気の下振れリスクがあるものの、企業収益の改善により雇用・所得環境の改善傾向が続き、緩やかな回復基調にあります。

このような状況で、当社グループの連結売上高は1,005億3千万円、前年同期比4.7%の増収、営業利益は65億7千6百万円、前年同期比31.8%の増益となりました。また、経常利益は68億4千4百万円、前年同期比30.1%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は42億9千3百万円、前年同期比39.7%の増益となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

(地上波放送事業)

放送収入のうちタイム収入は、営業企画番組の構築が不調であったこと、また前年度の「2014 F I F Aワールドカップ ブラジル大会」の反動もあり、368億9千9百万円、前年同期比4.6%の減収となりました。スポット収入は、販促企画によるシェアアップの達成、料金体系の見直しを推進した結果、230億2千3百万円、前年同期比3.7%の増収となりました。タイム・スポット合計では、599億2千2百万円、前年同期比1.6%の減収となりました。BS等収入は、23億3千6百万円、前年同期比9.3%の増収でした。

番組販売収入は「昼めし旅～あなたのご飯見せてください～」 「ポンコツ&さまぁ～ず」 「孤独のグルメSeason 5」などのレギュラー番組が売上を伸ばし、番組販売収入は29億9千2百万円、前年同期比1.4%の増収となりました。

ソフトライツ収入は、一般番組では人気シリーズである「孤独のグルメ」の販売が国内外で好調でした。また、「E-girlsを真面目に考える会議」「不便な便利屋」などのDVD販売が伸びた他、深夜ドラマを中心に幅広く配信セールスが実現し、売上を伸ばしました。映画事業では「ゴッドタン キス我慢選手権 THE MOVIE」シリーズのDVD販売が好調でした。アニメ事業では国内における「妖怪ウォッチ」の商品化などが好調に推移するとともに、海外においては中国をはじめとした配信、オンラインゲーム等のライセンス収入が好調に推移しました。また「NARUTOーナルトー展」なども好成績をおさめ、売上を伸ばしました。ソフトライツ収入全体では、128億7千万円、前年同期比51.1%の増収となりました。

イベント収入は「フィギュアスケート ジャパンオープン2015」が好調に推移したものの、前年度は「スターズ・オン・アイス2014」があったこともあり、イベント収入全体では9億1千6百万円、前年同期比47.9%の減収となりました。

一方で、営業費用全体では、751億6千万円、前年同期比1.6%の増加となりました。

以上の結果、地上波放送事業の売上高は790億9千2百万円、前年同期比3.7%の増収、営業利益は39億3千2百万円、前年同期比71.8%の増益となりました。

(放送周辺事業)

音楽出版関連では、「妖怪ウォッチ」「銀魂」などアニメ関連楽曲の印税収入が堅調に推移し、(株)テレビ東京ミュージックの売上高は22億5千1百万円、前年同期比3.7%の増収となりました。

一方、CS放送関連では、「ダイヤのA」番組関連イベントなどは健闘しましたが、アニメ専門チャンネル「A-T-X」の加入者数が伸び悩み、(株)イー・ティー・エックスの売上高は39億7千4百万円、前年同期比0.5%の減収となりました。

また、通信販売関連では、暖冬の影響を受け冬物商品が苦戦したものの、年末に清掃用品の売上が大きく伸びたことで、(株)テレビ東京ダイレクトの売上高は63億3千1百万円、前年同期比4.6%の増収となりました。

以上の結果、上述3社を含む放送周辺事業全体の売上高は253億3千9百万円、前年同期比2.6%の増収、営業利益は17億5千4百万円、前年同期比3.4%の増益となりました。

(BS放送事業)

放送収入は、「BSジャパン開局15周年特別企画 太陽を追い！激走！ソーラーカーレース」「日経カップ」「世界ウイスキー紀行」等の特番セールスが好調で、タイムセールス・スポットセールスともに良好に推移しました。

一方、費用面では、番組の充実を図るために「日経モーニングプラス」等のレギュラー番組をスタートさせたことによる番組制作費の増加がありました。

以上の結果、BS放送事業の売上高は114億5千8百万円、前年同期比8.5%の増収、営業利益は13億9千万円、前年同期比22.5%の増益となりました。

(インターネット・モバイル事業)

インターネット・モバイル事業では、お取り寄せグルメ「虎ノ門市場」のおせちなど年末商品の販売が好調でした。また「スヌーピー」事業において、10月よりテレビ東京にて新作ショートアニメーションの放送を開始し、公式ECサイト「おかいものスヌーピー」のオリジナル商品販売やデジタルコンテンツの事業拡大などに積極的に取り組みました。

以上の結果、インターネット・モバイル事業の売上高は33億1千万円、前年同期比14.8%の増収、営業利益は2億3千2百万円、前年同期比3.0%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は636億9千9百万円、前連結会計年度に比して11億6千2百万円の増となっております。これは主に、現金及び預金が7億9千9百万円の減、未収還付法人税等が3億9百万円の減となったものの、受取手形及び売掛金が15億4千8百万円の増、金銭の信託が4億6千8百万円の増、制作勘定が4億2千7百万円の増となったことによるものです。

固定資産は397億1千6百万円、前連結会計年度に比して16億8千6百万円の増となっております。これは主に、有形固定資産が8億8千6百万円の増、投資有価証券が6億6百万円の増となったことによるものです。

(負債)

流動負債は223億8千3百万円、前連結会計年度に比して8億9千万円の減となっております。これは主に、未払法人税等が2億1千8百万円の増となったものの、賞与引当金が11億2千8百万円の減となったことによるものです。

固定負債は61億1千2百万円となり、前連結会計年度に比して著しい増減はありません。

(純資産)

純資産は749億1千9百万円、前連結会計年度に比して36億5千9百万円の増となっております。これは主に、利益剰余金が32億3千3百万円の増、その他有価証券評価差額金が3億1千8百万円の増となったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年11月4日に公表いたしました平成28年3月期の通期の数値を修正しております。詳細につきましては平成28年2月4日公表の「2016年3月期 第3四半期決算 補足資料」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(会計上の見積りの変更)

当第3四半期連結会計期間において、将来の本社移転計画に基づき、より精緻な見積りが可能となったことから、オフィスの不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務の資産除去債務について見積りの変更を行っております。

この変更に伴い、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ28百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,950	25,150
受取手形及び売掛金	24,276	25,825
金銭の信託	—	468
制作勘定	10,353	10,781
商品	51	89
貯蔵品	15	15
未収還付法人税等	311	1
その他	1,587	1,379
貸倒引当金	△9	△12
流動資産合計	62,536	63,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,795	6,242
その他(純額)	11,471	12,911
有形固定資産合計	18,267	19,153
無形固定資産		
その他	1,085	1,238
無形固定資産合計	1,085	1,238
投資その他の資産		
投資有価証券	13,981	14,587
その他	4,740	4,776
貸倒引当金	△45	△40
投資その他の資産合計	18,676	19,323
固定資産合計	38,029	39,716
資産合計	100,565	103,415
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,011	3,913
短期借入金	1,100	1,100
未払費用	10,472	10,425
賞与引当金	1,549	420
未払法人税等	674	892
その他	5,466	5,630
流動負債合計	23,273	22,383
固定負債		
役員退職慰労引当金	46	15
退職給付に係る負債	3,756	3,940
その他	2,229	2,156
固定負債合計	6,031	6,112
負債合計	29,305	28,495

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	20,338	20,338
利益剰余金	36,038	39,271
自己株式	△624	△625
株主資本合計	65,752	68,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,534	3,852
為替換算調整勘定	16	15
その他の包括利益累計額合計	3,550	3,867
非支配株主持分	1,957	2,067
純資産合計	71,260	74,919
負債純資産合計	100,565	103,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	96,058	100,530
売上原価	66,533	68,639
売上総利益	29,524	31,891
販売費及び一般管理費		
人件費	5,682	5,930
賞与引当金繰入額	122	146
退職給付費用	260	266
役員退職慰労引当金繰入額	14	16
代理店手数料	13,375	13,896
賃借料	984	976
減価償却費	350	488
その他	3,742	3,594
販売費及び一般管理費合計	24,534	25,314
営業利益	4,990	6,576
営業外収益		
受取利息	16	15
受取配当金	182	183
為替差益	—	2
持分法による投資利益	16	33
受取賃貸料	61	61
その他	25	28
営業外収益合計	302	324
営業外費用		
支払利息	19	16
投資事業組合運用損	4	8
為替差損	6	—
金銭の信託運用損	—	31
その他	0	0
営業外費用合計	31	57
経常利益	5,261	6,844

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	0	0
補助金収入	32	—
受取補償金	—	105
その他	0	—
特別利益合計	33	105
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	2	2
投資有価証券売却損	117	—
投資有価証券評価損	101	1
ゴルフ会員権評価損	7	7
その他	38	0
特別損失合計	267	12
税金等調整前四半期純利益	5,027	6,937
法人税、住民税及び事業税	921	2,228
法人税等調整額	852	245
法人税等合計	1,773	2,473
四半期純利益	3,253	4,463
非支配株主に帰属する四半期純利益	179	170
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,073	4,293

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	3,253	4,463
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1,488	317
為替換算調整勘定	7	△1
退職給付に係る調整額	42	—
その他の包括利益合計	1,539	316
四半期包括利益	4,792	4,780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,613	4,610
非支配株主に係る四半期包括利益	179	169

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	地上波放送 事業	放送周辺 事業	BS放送 事業	インターネ ット・ モバイル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	69,804	13,954	10,246	2,052	96,058	—	96,058
セグメント間の 内部売上高又は振替高	6,461	10,745	309	829	18,347	△18,347	—
計	76,266	24,700	10,556	2,882	114,405	△18,347	96,058
セグメント利益	2,288	1,696	1,794	225	6,005	△1,014	4,990

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,014百万円には、セグメント間取引等消去70百万円、無形固定資産・制作勘定の調整額△12百万円及び全社費用△1,072百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	地上波放送 事業	放送周辺 事業	B S放送 事業	インターネ ット・ モバイル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	72,724	14,432	11,117	2,256	100,530	—	100,530
セグメント間の 内部売上高又は振替高	6,368	10,906	341	1,053	18,670	△18,670	—
計	79,092	25,339	11,458	3,310	119,201	△18,670	100,530
セグメント利益	3,932	1,754	1,390	232	7,310	△733	6,576

(注) 1. セグメント利益の調整額△733百万円には、セグメント間取引等消去84百万円、無形固定資産・制作勘定の調整額△8百万円及び全社費用△809百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。